

令和5年度高松商工会議所経営発達支援計画

実施結果

令和6年7月

経営発達支援計画の概要

実施者名	高松商工会議所(法人番号 7470005001064) 高松市(地方自治体コード 372013)
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
目標	当所地区内の小規模事業者の現状・課題や中長期的な振興のあり方を踏まえ、本計画の期間における目標を以下のとおりとする。 ・小規模事業者の自主的な経営計画に基づく経営基盤の改善と強化 ・香川県事業引継ぎ支援センターや事業承継支援ネットワークを活用した、事業承継支援を行う。 ・当所地区内の過半数を占めている商業・サービス業を中心に、販路拡大支援を強力に押しつすすめる。
事業内容	当所地区内の小規模事業者の現状・課題や中長期的な振興のあり方を踏まえ、本計画の期間における事業内容を以下のとおりとする。 1. 地域の経済動向調査に関する事 2. 経営状況の分析に関する事 3. 事業計画策定支援に関する事 4. 事業計画策定後の実施支援に関する事 5. 需要動向調査に関する事 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事 7. 地域経済の活性化に資する取組に関する事 8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事 9. 経営指導員等の資質向上等に関する事 10. 事業の評価および見直しをするための仕組みに関する事

1. 地域の経済動向調査に関するこ

【実施した事業】

(1)国が提供するビッグデータの活用

経済産業省の地域経済分析システム、通称RESASを活用し、地域の経済動向分析を行い当所HPに分析結果を公表した。公表データで得られた情報は事業者ごとに販路開拓や事業計画策定に活用していただいた。

(2)業種別景気動向調査等

管内の業種別に選定した小規模事業者約150社に業況、売上状況、仕入価格、経営課題等を質問する「業種別景気動向調査」を行い、当所会報やHPに調査結果を掲載し周知した。データを基に今後の経営方針の策定等に活用していただいた。

【今年度の目標及び実績】

調査内容	令和5年度(目標)	令和5年度(結果)	達成率
(1)地域の経済動向分析公表回数	1回	1回	100%
(2)景気動向公表回数	4回	4回	100%

【令和6年度の取組】

引き続き情報の収集・公表を行うことで当所管内の状況を広く周知する。

2. 経営状況の分析に関するこ

【実施した事業】

(1)経営分析セミナーの開催

中小企業診断士等を講師とした経営分析セミナーを開催。

「価格転嫁対策のポイントとは」では物価高騰が続き、事業者の利益が圧迫される状況において引き続き事業を継続する為の、商品・サービスの価格設定に関する経営分析方法について情報提供を行った。

「資金繰りから考える経営改善」では資金繰り表を作成する意味から得られる効果までを具体的に説明し実際に作成する方法について情報提供を行った。

日時	テーマ	講師	参加者数
令和5年5月26日	価格転嫁対策 のポイントとは	中小企業診断士 仲光 和之氏	34名 (内WEB21名)
令和5年10月20日	資金繰り表から考える 経営改善	財務リスク研究所(株) 横山 悟一氏	26名 (内WEB22名)

(2) 小規模事業者の経営分析

小規模事業者持続化補助金等の補助金申請支援、融資等の資金繰り相談支援、創業間もない方、これから創業を検討している方等の創業支援を通じて、小規模事業者が経営状況を把握するための分析を巡回・窓口相談を通じて行った。その中で専門家への相談が必要と考えられる専門的な経営課題をお持ちの事業者については中小企業診断士、税理士、弁護士等と連携し支援を行った。

【今年度の目標及び実績】

支援内容	令和5年度(目標)	令和5年度(結果)	達成率
(1)セミナー開催回数	1回	2回	200%
(2)経営分析件数	170件	299件	176%

【令和6年度の取組】

令和6年度も引き続き、経営分析を行いながら事業者支援を行っていく。経営分析セミナーについては引き続き継続して開催する。

3. 事業計画策定支援に関するこ

【実施した事業】

(1) 事業計画策定セミナーの開催

経営革新計画策定のコツを伝える経営革新塾、BCP計画策定の要点を伝える中小企業BCP策定セミナー、事業承継計画を考える為のポイントを伝える事業承継セミナー(香川県事業承継・引継ぎ支援センターとの共催)を開催。事業者が計画を策定する為に必要となる情報を提供する各種セミナーを開催した。

日時	テーマ	講師	参加者数
令和5年7月6日 ～7月31日(全4回)	中小企業 BCP 策定セミナー	(株)BCPJAPAN 山口 泰信	30名 (内 WEB 8名)
令和5年8月24日 ～8月31日(全2回)	経営革新塾	至誠コンサルティング(株) 藤井 正徳	38名 (内 WEB 22名)
令和6年2月13日	事業承継セミナー	中小企業基盤整備機構 中川 庄一郎 (株)日本M&Aセンター 伊奈 幸三郎	30名

(2) 窓口・巡回相談における事業計画策定支援

創業時の事業計画、経営相談時の事業計画策定等の支援を行った。令和5年度はエリア毎に担当する職員を決め、入会から3年以内の事業者や、特に支援が必要と考えられる法人・個人事業主を訪問することで必要な支援へつなげることができた。

【今年度の目標及び実績】

調査内容	令和5年度(目標)	令和5年度(結果)	達成率
(1)事業計画策定支援事業所数	60件	103件	172%

【令和 6 年度からの取組】

引き続き事業計画策定支援を継続して行うことで各事業所の課題を明確にし、必要なセミナーの開催や窓口・巡回相談により伴走型の支援を行っていく。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【実施した事業】

(1)各種補助金採択後や事業計画策定後に定期的なフォローアップを実施

小規模事業者持続化補助金をはじめ、事業再構築補助金、市県補助金等の事業計画策定支援後のフォローアップ、資金繰り相談後のフォローアップ、創業支援者へのフォローアップを行った。経営支援システム Biz ミル、カルテ管理システム toas を活用し経営指導員間の情報共有を行うことで組織的な経営支援を行った。

【今年度の目標及び実績】

調査内容	令和5年度(目標)	令和5年度(結果)	達成率
フォローアップ対象事業者数	60件	186件	310%
頻度(延回数)	330回	460回	139%
売上増加事業者数	26件	11件	42%
利益率5%以上増加の事業者数	26件	9件	35%

【令和 6 年度の取組】

引き続き事業者へのフォローアップを継続して行うことで、事業者が事業計画達成する為に必要な伴走型支援を行い事業者の発展に資する取組を行っていく。

5. 需要動向に関すること

【実施した事業】

(1)県外バイヤーに対し需要動向調査を実施

当所が行っている販路開拓支援GROWUPプログラム事業を通じて展示会への出店を行う中で、商品のデザイン、価格設定、味や品質、市場トレンドとの整合性、消費者への売りやすさ、バイヤーとしての仕入れやすさ等についての需要についての動向調査を実施した。

GROWUPプログラムの参加事業者は3か年計画の1年目であるR4年度は8事業者の参加に対し、R5年度は21事業者の申込があった。2年連続の参加は6事業者。

(2)各事業者の顧客・消費者に対し需要動向調査を実施

出店した2つの展示会及び丸亀町商店街で実施したチャレンジショップにおいて来訪した顧客、消費者に、主力商品に対する評価をヒアリング調査、購入後のアンケートにより調査を行った。

【今年度の目標及び実績】

支援内容	令和5年度(目標)	令和5年度(結果)	達成率
(1)バイヤーへの需要調査事業者数	15件	14件	93%
(2)顧客・消費者への調査事業者数	5件	13件	260%

【参考】各展示会等への参加企業数

展示会等名	参加企業数
PASS THE BATON MARKET	10 事業者
NEW ENERGY	6 事業者
チャレンジショップ	13 事業者

※PASS THE BATON MARKET と NEW ENERGY の重複参加者は2事業者

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関するこ

【実施した事業】

(1)他団体主催商談会・展示会への出店支援事業

セミナーによる参加事業者の販路開拓に対する知識の充足と実際に展示会へ出店することで販路開拓に寄与する取組を行った。

①GROWUPプログラム事前説明会開催

GROWUPプログラムの趣旨や取組内容についての説明会を行った。

②第1回GROWUPプログラムセミナー開催(12事業者が参加)

展示会主催者を講師として招き事業者の販路開拓や展示会に出展する際のポイントについて説明を行った。

③PASS THE BATONへの出店

インテリア・ファッショ・食といったさまざまなジャンルの物づくりの企業・ブランド 50 事業者以上が参加し、2 日で約 3,600 人の消費者が来場する商談会。当所からは 10 事業者が出店し約 660 点の商品を販売することができた。

PASS THE BATONの様子	出店ブースの様子

④第2回GROWUPプログラムセミナー開催(12事業者が参加)

PASS THE BATON出店結果についての振り返り並びに今後参加予定のNEW ENERGY出店に向けて展示会での見せ方や営業方法について説明を行った。

⑤第3回GROWUPプログラムセミナー開催(10事業者が参加)

NEW ENERGYについての説明、効果的なブースのレイアウト等展示会の出展に必要となる知識について説明を行った。

⑥NEW ENERGYへの出店

ファッションやファッション雑貨、ライフスタイル雑貨、エシカル商品、ビューティー、フード、アート等のクリエイティブな商品が一同に集う商談会。約250事業者が参加し来場者は2日で1万人を超える。6事業者が参加し、総商談数が50件、成約が2件、継続交渉が21件の結果となった。

NEW ENERGYの様子	出店ブースの様子

(2)当所主催商談会開催事業

事業者が新商品・新サービスの提供を行うチャレンジショップ事業を丸亀町商店街けやき広場で開催した。直接エンドユーザーへPRを行い、生の意見を聞くことで商品・サービスのさらなるブランドアップ、販路拡大につなげる機会となった。

【チャレンジショップ事業】



【今年度の目標及び実績】

支援内容	令和5年度(目標)	令和5年度(結果)	達成率
(1)他団体主催展示会出展企業数	15件	15件	100%
(1)成約件数/件	10件	2件	20%
(2)当所主催商談会参加事業者数	15件	13件	87%
(2)成約件数/件	10件	0件	0%

※当所主催の商談会は来店者すべてが最終消費者の為成約件数は0件でカウント

【令和6年度の取組】

令和4年度から3年計画で事業者に商品開発、販路開拓を行う支援を開始した。1年目は専門家を活用し商品開発に必要なスキル・知識の習得に努めた。2年目となる令和5年度は1年目で得ることができた情報を基にした、商品開発等を通じてテストマーケティング・展示会への出店につながる支援を行った。3年目となる令和6年度は展示会での実績や今後事業者が販路開拓について自走ができる支援を行っていく。

7. 地域経済の活性化に資する取組に関するこ

【実施した事業】

- (1)高松市中心市街地活性化協議会を開催した
- (2)第 56 回さぬき高松まつり総おどりに高松商工会議所連として参加
- (3)丸亀町商店街けやき広場にてチャレンジショップ事業を開催

【令和 6 年度の取組】

チャレンジショップ事業等を行い地域経済の活性化に資する取組を継続する。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関するこ

【実施した事業】

- (1)経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会への出席
 - (2)香川県6商工会議所中小企業相談所長会議の開催
 - (3)よろず支援ネットワーク連絡会への出席
 - (4)価格転嫁の円滑化に関する協定担当者会議への出席
- 他団体と情報交換ができる各種会合へ出席。事業者の経営課題の解決を図る為の支援ノウハウ等の情報交換を行った。

【令和 6 年度の取組】

引き続き各連携機関と情報交換を行いながら継続した支援を行う。

9. 経営指導員等の資質向上に関するこ

【実施した事業】

支援担当職員が中小企業大学校や日本商工会議所が主催する各種研修会並びに香川県下商工会議所経営支援担当職員研修に参加した。

ITパスポート講習会への参加。上期下期にそれぞれ1回開催し延べ 16 人の職員が受講した。
現在ITパスポートの取得者数は10名となっている。

当所管轄のエリアを13に分けそれぞれに2名の担当を決めて巡回等を行った。2名のペアは経験のある職員と経験の少ない職員をペアにすることで実際に事業者への対応時にOJTを行った。

日本政策金融公庫融資担当者を講師として招き融資勉強会を開催、支援能力の向上と効果的経営手法の習得等に努め総合的な支援能力の向上を図った。

相談内容を経営支援ツール(toas,Bizミル)へ入力し職員間の情報共有並びに情報の蓄積を行い支援内容の共有を図った。

経営指導員を含む高松商工会議所職員が職務を遂行する際の判断基準となるペーパス、職員行動指針を制定した。

【バーバス】

企業の成長と高松の未来に貢献する

【職員行動指針】

現場に足を運び、傾聴と提案を実践します

自己研鑽に努めスキルアップを継続します

常に最善と最新の視点を持ちます

ダイバーシティを理解し、チームプレイで対応します

行政や地域との懸け橋となります

【令和 6 年度の取組】

これまでの課題解決型の支援から事業者自らが本質的な課題にきづくように促し、自らの事業環境の変化に合わせて変革できる力をつけるための伴走型支援を行うことが求められている。引き続き各種研修会への参加、勉強会の実施により自己研鑽に努めていく。

10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関するこ

【実施した事業】

令和 5 年度の経営発達支援事業実施結果について有識者による評価委員会を開催。今後の効果的な支援のPDCAサイクルの構築を図る為実施状況を報告し成果について評価を行った。結果について次年度以降の計画の参考とともに、当所ホームページで公表するとした。

【令和 6 年度の取組】

来年度は経営発達支援計画の最終年度となる。最終年度についても評価委員会を開催し、委員の皆様から評価をいただき、評価いただいた内容を今後の商工会議所の効果的な支援に反映させるものとする。

経営発達支援計画運営・評価委員会開催結果について

1. 日 時 令和6年7月18日（木）11：00～12：00
2. 場 所 高松商工会議所会館 4階 402会議室
3. 出席委員 4人
4. 審議事項 （1）令和5年度実施事業の評価等について
その他
5. 結 果

当所事業推進部長による開会挨拶の後、運営・評価委員会規程第3条第3項により、委員長が議長となり議案審議を行い、審議事項（1）について、各委員から以下のとおり意見・評価があり今後の取組みに反映することとした。その他については特に意見がなく閉会となった。

○事業計画策定後の実施支援に関すること

昨年度、補助金等対応後のフォローアップが重要になってくるという意見が出たが、今年度はそれを体現する形でフォローアップに力を入れられた結果となった。

フォローアップ対象事業者数等の件数は伸びているが、経営改善にどれくらい繋がっているのかが若干見えにくい。

○経営指導員等の資質向上に関すること

ペアを組んでの巡回は大変であるが、地域事業者に出向き、顔を見て生の声を拾うのは非常に重要なことであるので、継続して伴走支援を行っていただきたい。

○新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

展示会や商談会等の成約率が目標を下回っているが、成約判定の締切期限をいつにするかによっても変わってくる。引き続きフォローアップに力を入れていただきたい。

○事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

委員会の開催結果をホームページに公表しているが、公表前に委員の皆さんにお知らせをしていただきたい。

以上